

西暦	和暦	命日	名前		
					1711. 江戸最古の節句人形店（吉徳）が創業
1712	正徳	正徳2年6月4日	初代 妻	徳川 家宣	
					1714. 江島生島事件、貝原益軒・竹本義太夫・柳沢吉保が死去
1716	享保	元年 3月14日	初代	家継・吉宗	1716. 享保の改革が始まる 尾形光琳が死去
				徳川 吉宗	1720. 江戸で町火消「いろは組」が組織される
					1725. 新井白石・近松門左衛門が死去
					1728. 荻生徂徠が死去
					1733. 隅田川花火大会が始まる
					1734. 紀伊国屋文左衛門が死去
1736	元文				
					1739. 元文の黒船（ロシア船）が来航
1741	寛保	元年7月2日	弥兵衛 妻		
					1742. 公事方御定書が完成
					1743. 甘藷の栽培を奨励
1744	延享				
1745				吉宗・家重	
1748	寛延			徳川 家重	
					1750. 百姓の苗字、帯刀禁止
1751	宝暦				1751. 徳川吉宗が死去
					1752. 大岡忠相が死去
					1755. 奥羽飢饉
1760				家重・家治	
1762		宝暦12年3月13日	弥兵衛	徳川 家治	
					1767. 田沼意次が側用人となる
1764	明和				
					1771. 八重山地震、大津波で死者約1万人
1772	安永				1772. 明和の大火

					1774. 杉田玄白、前野良沢らが「解体新書」を出版
					1779. 桜島が大噴火
					1780. 平賀源内が死去
1781	天明				
					1782
					1783. 浅間山大噴火
1784		天明4年10月24日	女性		与謝蕪村が死去
1787		天明7年		徳川 家斉	松平定信が老中に就任（寛政の改革が始まる）
1788		天明8年11月8日	甚助 弟 興助		天明の大火により京都の大半が焼失
1789	寛政				
					1795. 円山応挙が死去
1801	享和				1801. 本居宣長が死去
					1802. 十返舎一九が東海道中膝栗毛を出版
					1803. アメリカ船が長崎に来航し通商を要求する
1804	文化				
1807		文化4年9月8日	甚助		1807. 全蝦夷地が幕府直轄となる
					1808. 間宮林蔵が樺太を探検
1811		文化8年7月21日	甚助 妻の母		三宅島噴火による地震発生
1816		文化13年3月17日	甚助 母 96才		
1818	文政				
					1821. 伊能忠敬らによる「大日本沿海輿地全図」が完成
					1828. 小林一茶が死去
1829		文政12年4月21日	き助 母		
1831	天保	天保2年2月20日	まん		1831. 十返舎一九が死去
					1833. 天保の大飢饉が始まる
					1836. 「江戸名所図鑑」全巻刊行
1837				家斉・家慶	1837. 大塩平八郎の乱
				徳川 家慶	1842. 天保の改革により株仲間解散令発布

1844	弘化			1844. オランダ国王が幕府に開国を勧告
				1846. 米国軍艦2隻が浦賀水道に来航し、通商を打診
				1847. 善光寺地震 (M7.4) で死者約8,000人
1848	嘉永			1850. 江川坦庵が葦山に反射炉を築く
1853			家慶・家定	1853. ペリーが黒船を率いて浦賀に来航
			徳川 家定	1854. 日米和親条約 日英和親条約
				1854. 安政東海地震 安政南海地震が発生
1855	安政			1855. 日露和親条約 安政の江戸大地震
1858			家定・家茂	1858. 日米修好通商条約調印 (続けて蘭・露・英・仏とも調印)
			徳川 家茂	1858. 安政の大獄による捕縛開始 福沢諭吉が蘭学塾 (後の慶應義塾)
1859		安政6年7月7日	藤右エ門	1859. 安政の大獄、徳川慶喜が隠居謹慎に処される
				1859. 英国貿易省トーマス・グラバーが長崎に来日
				1859. ダーウィンが「種の起源」を刊行
1860	万延			1860. 咸臨丸がサンフランシスコに到着
				桜田門外の変、大老・井伊直弼が暗殺される
1861	文久			1861. 長崎で日本初のボウリング場が開設
				1862. 坂下門外の変 寺田屋事件 (薩長藩尊皇派) 生麦事件
				1863. 新選組が結成 長州藩で高杉晋作らが奇兵隊を編成
				薩英戦争が勃発
1864	元治			1864. 神戸海軍操練所を設立 (勝海舟) 池田屋事件
1865	慶應			1865. グラバーが長崎で日本初の蒸気機関車を走らせる
				1866. 薩長同盟が成立 坂本龍馬襲撃事件 (寺田屋事件)
				福沢諭吉「西洋事情」刊行
1867			徳川慶喜	1867. 渋沢栄一らが幕府代表としてパリ万博を視察
				大政奉還 (徳川慶喜が征夷大將軍を辞す)
				坂本龍馬暗殺される (近江屋事件)
1868	明治			1868 王政復古の大号令 戊辰戦争、鳥羽伏見の戦い

					五箇条のご誓文 江戸城無血開城 五稜郭の戦い
					1869. 東京遷都（明治天皇が東京に到着）太政官制が開始
1870		明治3年9月10日	藤右エ門 妻		
1896		明治29年2月24日	五郎市 妻とく		
1911		明治44年12月27日	五郎市 後妻すて37才		
1918	大正	大正7年5月7日	嘉市		

2023年10月現在初代の妻が亡くなってから**312年**の歳月が過ぎました。

立嶋家のご先祖様はもしかしたら**350年以上前**から勝浦に住んでいたのかもしれませんが。

那智勝浦町史のいページ目には「立嶋氏が…」と記載されています。

又、秋刀魚漁熊野灘海難事故（明治）においては八丈島の方まで黒潮に乗って流され遭難した方の救助要請に対し、当時の立嶋家当主立嶋嘉市は海軍に打診し、軍艦を派遣してもらい救助にあたったようです。

その功績により海難事故慰霊碑に名前が載っているということです。（未確認ですが…）